

平成 29 年第 4 回定例会

富良野市議会会議録（第 5 号）

平成 29 年 12 月 18 日（月曜日）

平成 29 年第 4 回定例会

富 良 野 市 議 会 会 議 録

平成 29 年 12 月 18 日 (月曜日) 午前 10 時 00 分開議

議事日程 (第 5 号)

- 日程第 1 議案第 1 号 平成 29 年度富良野市一般会計補正予算 (第 4 号)  
議案第 9 号 富良野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について  
議案第 14 号 訴訟上の和解について  
議案第 15 号 指定管理者の指定について (山部自然公園太陽の里)  
議案第 16 号 指定管理者の指定について (金満緑地公園パークゴルフ場)  
議案第 17 号 指定管理者の指定について (東山公園パークゴルフ場)
- 日程第 2 議案第 2 号 平成 29 年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 3 議案第 3 号 平成 29 年度富良野市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 4 議案第 4 号 平成 29 年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算 (第 3 号)  
議案第 10 号 富良野市特別会計設置条例の一部改正について  
議案第 11 号 富良野市公設地方卸売市場条例の廃止について  
議案第 12 号 財産の無償譲渡について  
議案第 13 号 財産の処分について
- 日程第 5 議案第 5 号 平成 29 年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 6 議案第 6 号 平成 29 年度富良野市水道事業会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 7 議案第 7 号 平成 29 年度富良野市ワイン事業会計補正予算 (第 1 号)
- 日程第 8 議案第 8 号 富良野市債権管理条例の制定について
- 日程第 9 議員の派遣について
- 日程第 10 閉会中の所管事務調査について  
閉会中の都市事例調査について

出席議員 (18 名)

議 長	18 番	北 猛 俊 君	副議長	8 番	天 日 公 子 君
	1 番	大 栗 民 江 君		2 番	宇 治 則 幸 君
	3 番	石 上 孝 雄 君		4 番	萩 原 弘 之 君
	5 番	岡 野 孝 則 君		6 番	今 利 一 君
	7 番	岡 本 俊 君		9 番	日 里 雅 至 君
	10 番	佐 藤 秀 靖 君		11 番	水 間 健 太 君
	12 番	関 野 常 勝 君		13 番	波 谷 正 文 君
	14 番	後 藤 英 知 夫 君		15 番	本 間 敏 行 君
	16 番	広 瀬 寛 人 君		17 番	黒 岩 岳 雄 君

欠席議員（0名）

説明員

市	長	能登芳昭君	副	市	長	石井隆君
総務部長	若杉勝博君		市民生活部長	長	沢和之君	
保健福祉部長	鎌田忠男君		経済部長	後藤正紀君		
ぶどう果樹研究所長	川上勝義君		建設水道部長	吉田育夫君		
看護専門学校長	澤田貴美子君		総務課長	高田賢司君		
財政課長	藤野秀光君		企画振興課長	西野成紀君		
			教育委員会教育長	近内栄一君		
教育委員会教育部長	山下俊明君		農業委員会会長	東谷正君		
農業委員会事務局長	佐藤正義君		監査委員	宇佐見正光君		
監査委員事務局長	佐藤清理君					
公平委員会事務局長	佐藤清理君		選挙管理委員会委員長	堀川真理君		
選挙管理委員会事務局長	大内康宏君					

事務局出席職員

事務局	長	川崎隆一君	書	記	今井顕一君
書	記	佐藤知江君	書	記	倉本隆司君

午前10時00分 開議  
(出席議員数18名)

## 開 議 宣 告

議長(北猛俊君) これより、本日の会議を開きます。

## 会議録署名議員の指名

議長(北猛俊君) 本日の会議録署名議員には、  
石上孝雄君  
広瀬寛人君  
を御指名申し上げます。

## 諸 般 の 報 告

議長(北猛俊君) 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

事務局長川崎隆一君。

事務局長(川崎隆一君) -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

今定例会の追加議案につきましては、議会側提出の事件、議員の派遣及び事務調査、都市事例調査の申し出につきましては、本日御配付の議会側提出件名表ナンバー2に記載のとおりでございます。

以上でございます。

## 議会運営委員長報告

議長(北猛俊君) 本定例会の運営に関し、議会運営委員会より報告を願います。

議会運営委員長黒岩岳雄君。

議会運営委員長(黒岩岳雄君) -登壇-

議会運営委員会より、12月14日に委員会を開催し、追加議案の取り扱いについて審議しましたので、その結果を報告いたします。

提出されました追加議案は、議会側提出案件が4件で、内訳は、議員の派遣1件、閉会中の事務調査2件及び都市事例調査1件でございます。

いずれも、本日の日程の中で審議を願うことにしております。

以上を申し上げまして、議会運営委員会からの報告を終わります。

議長(北猛俊君) お諮りいたします。

ただいま議会運営委員長より報告のとおり、本定例会を運営いたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) 御異議なしと認めます。  
よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

## 日程第1

議案第1号 平成29年度富良野市一般会計補正予算(第4号)

議案第9号 富良野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

議案第14号 訴訟上の和解について

議案第15号 指定管理者の指定について(山部自然公園太陽の里)

議案第16号 指定管理者の指定について(金満緑地公園パークゴルフ場)

議案第17号 指定管理者の指定について(東山公園パークゴルフ場)

議長(北猛俊君) 日程第1、議案第1号、平成29年度富良野市一般会計補正予算及びこれに関連する議案第9号、富良野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、議案第14号、訴訟上の和解について、議案第15号、指定管理者の指定について(山部自然公園太陽の里)、議案第16号、指定管理者の指定について(金満緑地公園パークゴルフ場)、議案第17号、指定管理者の指定について(東山公園パークゴルフ場)、以上6件を一括して議題といたします。  
初めに、議案第9号、富良野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、以上で議案第9号の質疑を終わります。

次に、議案第14号、訴訟上の和解についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

3番石上孝雄君。

3番(石上孝雄君) 2点お伺いいたします。

和解についてということでの理解はいたすところでありませぬけれども、これから、このことがあった以降、構造上の安全システムの構築はなされているのか、もう一点は、このことにより入所希望者の入所時のハードルは上がっているのか、お伺いいたします。

議長(北猛俊君) 御答弁願います。

保健福祉部長鎌田忠男君。

保健福祉部長(鎌田忠男君) 石上議員の御質問にお

答えいたします。

質問の案件につきましては、転落事故後の安全対策の関係と入所基準という2点であるかと思えます。

まず、1点目に安全対策でございますが、寿光園におきましては、転落事故防止の安全対策として、建設当時より2階居室窓には転落防止用の柵として1本のステンレスパイプを設置して、指定管理者においては、要介護度の高い方はできる限り1階の居室に入所するよう配慮されてきたところでございます。

本件事故への対応としましては、事故が深夜に発生し、その早朝に指定管理者より本市に口頭での事故報告があり、翌日、事故報告書の提出がなされたところであります。この事故報告書の中では、居室窓の開放角度に制限がなく、転落防止の柵も1本のみで、意図すれば外に出ることが可能であることから、再発防止策としては、生活空間であることを最大限に考慮しつつ、転落防止の柵の追加や居室窓の開放角度に制限を設けることも検討し、実施を図るということで報告を受けたところでございます。

本市といたしましては、この報告を受け、指定管理者と協議を行い、養護老人ホームとしては入所者にとって閉所的な空間とならないよう配慮しながら、転落事故の原因が明確にはなっていないものの、再発を防止するためには万が一の転落のリスクをできる限り最小限とすることが必要と判断し、2階居室70室の窓に転落防止用のステンレスパイプを1本追加し、あわせて、窓の開閉角度を制限する全半開部品、いわゆるストッパーを設置するとともに、2階共用部の廊下窓6カ所にもステンレスパイプとストッパーを設置し、安全対策を図ってまいりました。工事につきましては、速やかに対応すべく、予備費の充用によって執行させていただき、事故後、9月10日に設置を完了したところでございます。

次に、入所措置の基準でございますけれども、寿光園の入所措置については、厚生労働省老健局通知の老人ホームへの入所措置等の指針に基づいて、本市では、富良野市老人福祉施設入所等措置要領を定め、入所判定を行っているところであります。入所基準としましては、健康状態や生活環境など環境上の事情、あわせて、経済的事情を要件として老人ホーム入所判定審査票兼要措置者調査書を作成した上で、入所判定委員の意見を聞き、決定しているところでございます。身体的な状況につきましては、養護老人ホームにおいて入所者が施設の中である程度自立して生活することが必要なことから、入所判定時には、要介護認定で自立から要介護1までの方を入所対象として運用しており、事故発生後においても入所措置基準については変更を行っておりません。

また、事故後においては、要介護認定を受けた方については、申請者から要介護認定調査員による認定調査票

及び主治医意見書の写しの提出を求め、生活状況などの確認と認知症高齢者の日常生活自立度の確認を行い、入所措置基準としては日常生活自立度のランク までの方を対象に運用しています。しかし、この介護認定の要介護度は日常生活自立度を含めた判定でありますので、従前の入所判定基準と何ら変わるものではありません。

以上でございます。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

4 番萩原弘之君。

4 番（萩原弘之君） いま、石上議員が質問された部分の関連でございます。

先ほど、入所のための要綱を含めて、説明をいただきました。入所に関しては委員会の中で判断するというような仕組みになっているかなと思いますが、変わっていないということだと、今回のこの和解にかかわって委員会での入所に対する見解はどのように聞いておられるか、御説明を願います。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

保健福祉部長鎌田忠男君。

保健福祉部長（鎌田忠男君） 萩原議員の質問にお答えいたします。

養護老人ホームの入所判定については、判定委員会ということで、保健所長と専門の方の審査を受けていただいているところでございます。その中で意見については、先ほど申しました入所判定審査票及び要措置者調査書で判断した上で、今回については特段問題がないというような考え方を受けているところでございます。

以上でございます。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

13 番渋谷正文君。

13 番（渋谷正文君） 今回の訴訟上の和解についてありますが、解決金として600万円が提示され、それを被告2者において折半したという状況であります。もともとは600万円の解決金の和解でありますので、それを300万円にされた合理的な理由というものがあろうかというふうに思いますが、そちらについてお知らせしていただきたいというふうに思います。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

保健福祉部長鎌田忠男君。

保健福祉部長（鎌田忠男君） 渋谷議員の御質問にお答えいたします。

今回の事故における責任の割合について、指定管理者と富良野市の間でのそれぞれの責任の割合でございますが、指定管理者においては、ソフトの部分、入所者へ

の対応が一つの責任ということであります。また、富良野市においては、施設を整備していればこの事故は一定程度防げたのではないかという裁判長の心証から判断がされたところでございます。

この割合については、裁判所の口頭弁論の中で、市としても、割合についてどうなのだろうかと裁判所のほうに問い合わせをさせていただきました。基本的には、この基準について明確なものはなく、全体として調停、和解ということでございますので、そういう中ではお互いに責任があるということでの2分の1、折半という提案が裁判所からされたところでございます。

以上でございます。

議長（北猛俊君） 13番渋谷正文君。

13番（渋谷正文君） これは、補正予算とも関連してありますので、お聞きいたします。

21款諸収入の中に、市民総合賠償補償保険金300万円が計上されておりまして、賠償補償保険対象となっているということなのかなと思います。それでいきますと、今回の解決金については全て保険の対象となったということによろしいのでしょうか、確認したいと思います。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

保健福祉部長鎌田忠男君。

保健福祉部長（鎌田忠男君） 渋谷議員の再質問にお答えいたします。

今回の賠償金にかかわる財源につきましては、渋谷議員からお話のとおり、損害賠償の補償金で全て賄う内容になってございます。

以上でございます。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第14号の質疑を終わります。

次に、議案第15号、指定管理者の指定について（山部自然公園太陽の里）を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第15号の質疑を終わります。

次に、議案第16号、指定管理者の指定について（金満緑地公園パークゴルフ場）を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第16号の質疑を終わります。

次に、議案第17号、指定管理者の指定について（東山公園パークゴルフ場）を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第17号の質疑を終わります。

次に、議案第1号、平成29年度富良野市一般会計補正予算の質疑を行います。

質疑は、予算第1条の歳出より行います。

事項別明細書20ページ、21ページをお開きください。

2款総務費、3款民生費まで、20ページより25ページまでを行います。

質疑ございませんか。

4番萩原弘之君。

4番（萩原弘之君） 20ページ、21ページ、2款1項総務管理費6目財産管理費の200番、公共施設総合管理費でございます。

前段でこの事業の内容に関する資料をいただいておりますので、それに基づいて質問をさせていただきます。

LED化とボイラーの改修についてでございます。

10ページに、補助申請施設についてということで、LED化が41施設、ボイラー改修が5施設となっております。選定の考え方として、この4項目で、この中に、41施設の中で、当然、検討された施設があるのかなというふうに思います。その検討された施設が何件あって、なぜこの考え方に該当されなかったのか、お聞かせいただきたいと思います。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

総務部長（若杉勝博君） 萩原議員の御質問にお答えいたします。

21ページ、200番、公共施設総合管理費の二酸化炭素排出抑制対策事業調査委託料ということでございます。この事業は、環境省の補助を受ける調査委託事業で、内容的には41の公共施設のLED化とボイラーの一部施設整備ということですが。

検討した施設としては、300を超える公共施設がございしますが、その中で、公営住宅や職員住宅といった、いわゆる借り主が電灯器具を交換するものは除きます。その結果、総体として157の施設がございしますが、その中で、今回の補助事業が10年間リースでございしますので、まずは、10年間、継続的に使う施設、それから、売却予定のない施設、また、スケジュール的にも非常にタイトだったものですから、図面が準備できるかどうかということもございました。その結果として、今回提示させていただいている41の施設、公営住宅、教員・職員住宅、貸し付け施設、小規模施設を除きまして、小・中学校11校を

含む41施設で申請いたしたところであります。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

4番萩原弘之君。

4番（萩原弘之君） 申請した施設の選定の考え方をお答えいただいたのかなと思います。

小・中学校のことについてお伺いしたいと思いますが、施設の内容を見ますと、山部中学校、また樹海中学校という名前がここに記載されておりません。その経緯についてお伺いいたします。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

総務部長（若杉勝博君） 萩原委員の再質問にお答えいたします。

いま御質問のように、山部中学校、樹海中学校は除いております。

といえますのは、こちらの2校につきましては、いま、地域のほうと協議がなされているというふうにお聞きしておりますので、今回の申請から外させていただいたということでございます。

ただ、蛍光管等が2020年に生産中止になるという前提がございますので、その協議結果が明らかになってきたときには、この後の整備において検討していくことになるかと思っております。

以上であります。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

4番萩原弘之君。

4番（萩原弘之君） あくまでも計画があつて予定という部分ですので、調査検討していることについては理解します。

ただ、調査検討をした結果、この両学校が存続の方向性に至ったときに、このLED化の事業について速やかに市の事業として取り入れていただけるのかどうか、その辺のことについてお伺いします。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

総務部長（若杉勝博君） 萩原議員の再質問にお答えいたします。

先ほど申し上げたように、今後、市でLED化をしていかなければならない施設が157あります。今回補助申請をした41施設についても、これから調査事業をやって、41から落ちる可能性もありますが、ほぼ110以上の施設が残ります。それを、今後、2020年までですから時間的にも余りありませんが、それぞれの所管において、補助を活用した形でやるのか、市が直でやるのか、あるいはこうしたリース方式でやるのかということも含めてLED化を図っていくという考え方です。

以上です。

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、次に移ります。

4款衛生費、6款農林業費、7款商工費、8款土木費、9款教育費、11款給与費、13款災害復旧費、24ページより31ページまでを行います。

質疑ございませんか。

14番後藤英知夫君。

14番（後藤英知夫君） 28ページ、29ページの7款1項3目の105番、観光PR動画制作事業費についてお伺いしたいと思います。

これは、事前説明の中ではインフォメーションセンターで使う動画ということですが、今後のこの事業の入札の考え方と、PR動画の内容について伺いたいと思います。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長（後藤正紀君） 後藤議員の御質問にお答えいたします。

観光PR動画制作事業費300万円でございます。

初めに、内容につきましては、インフォメーション施設等で流す部分並びにSNS、いわゆるホームページやフェイスブック等でそれぞれ対応する部分で、特にインバウンド、アクティビティ、体験物並びに食等にこだわってつくっていく方向でいまは検討してございます。

もう一点の入札の方法につきましては、企画部門並びに制作、撮影、演出等も入ってくると思います。そういったものを勘案しまして、総合的に行う方向か、あるいは部分ごとに分けるのか、それぞれ整理いたしまして、場合によりましては専門の業者の指定も含めて入札を行っていきたく思っております。

以上です。

議長（北猛俊君） 14番後藤英知夫君。

14番（後藤英知夫君） 入札についてはまだこれから考えるということによろしいのか、まず1点です。

それから、これは冬期間のビデオをつくるようなお話を聞いていますが、それであれば、もう少し早い段階で予算を計上するべきだったのではないかとこのふうにご考えていますけれども、今回、12月になった理由についてお聞きしたいと思います。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長（後藤正紀君） 後藤議員の再質問にお答えいたします。

冬期間の撮影であれば、手がけるのが遅いのではないかとこの御質問でございます。

こちらにつきましては、観光の会議等の中で、富良野の弱い部分あるいは強みの部分等をいろいろと検討しまして、いま一番足りないものとして特に冬期間のPR等

にもう少し力を入れなければならないということが固まりまして、まず、この冬に映像を制作したいと思っています。そうしないと、また丸1年おくれてしまいますので、年度内にこれを制作しなければならないと判断して、今回の補正を上げさせていただきます。

以上です。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

14番後藤英知夫君。

14番（後藤英知夫君） 今回ということはわかったのですが、これから入札してということになると、また年を越して遅くなると思います。それであれば、もっと以前に、9月などで補正を組むべきではなかったのかということが一つです。

それから、いまは冬期間というお話でしたけれども、今後はPR動画についてどのような考えを持っておられるのか、お聞きします。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長（後藤正紀君） 後藤議員の再質問にお答えいたします。

手がけるのが遅いのではないかとということでございますけれども、こういったものをつくっていきいたいという程度の方向性が固まってまいりましたのが9月の補正に間に合いませんでしたので、今回上げさせていただきました。

今後の予定でございますが、これから、特に弱い3月、4月も含めまして、春並びに夏の動画も刷新しながら、インフォメーション等の機能を充実していきたいと思っています。

以上です。

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

3番石上孝雄君。

3番（石上孝雄君） 24ページ、25ページの4款1項6目の115番、固形燃料ボイラー熱供給設備使用事業費の400万円です。

たしか6月にも補正があったと思います。この400万円に関しては、ボイラー損傷の事故があった以降だとお聞きしておりますが、これはいつまでなのか。

また、先週の一般質問の中で、いまのボイラーの燃焼が順調だということでしたが、ボイラーが順調に作動したとして、この400万円というのは上がっていくのか、下がっていくのか、お聞きいたします。

それから、28ページ、29ページの7款1項1目の126番、富良野料飲店組合創立70周年記念誌発行事業補助金の22万円です。

昨年、1団体が記念誌を発行したということで助成金が出ております。それ以降は行わないという見解を示していたと思いますが、今回の経緯についてお伺いいたし

ます。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

市民生活部長長沢和之君。

市民生活部長（長沢和之君） 石上議員の御質問にお答えいたします。

25ページ、115番、固形燃料ボイラー熱供給設備使用事業費400万円の補正についての御質問でございます。

まず、6月補正におきまして、約620万円をハイランドの燃料代及び電気代ということで計上させていただきました。その後、8月にバグフィルターの焼損という事故で、それ以降は停止しておりました。そういうことで、補正額につきましては、その間の重油代に充てさせていただいたところでございます。

その後は、11月後半から再稼働しております。その中で、今回の400万円につきましては、12月以降のハイランドに係る重油代、それから、ボイラーの稼働に係る電気代ということで上げさせていただいております。重油代につきましては、9月補正におきまして、ハイランド全体における熱供給を拡大するような部分もあわせて上げさせていただいておりますので、その部分の冬場の検証という意味合い、それから、1カ月に2回の清掃点検を行い、その間は停止いたしますので、重油ボイラーが稼働することでの稼働代です。そういうことで、冬場の状況の検証を含めて、3月までの重油代、それからボイラーの電気代として計上させていただきました。

以上でございます。

議長（北猛俊君） 続いて、御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

総務部長（若杉勝博君） 石上議員の御質問にお答えいたします。

29ページ、126番、富良野料飲店組合創立70周年記念誌発行事業補助金でございます。

経緯ということでありますが、昨年度、平成28年度におきまして実は2件の補助を出しておきまして、昨年9月補正におきまして、富良野医師会50周年、それから、富良野交通安全協会創立60周年ということでございます。

今年度になりまして、料飲店組合、それから、まだ予算計上はされておきませんが、東山地区のほうで一部そうした動きがあるとお聞きした中で、統一ルールが必要であろうということから、今後も含めて、市としての共通ルール、行政としての統一した判断基準を今年度につくらせていただいております。それに基づきまして、総事業費の4分の1、30万円以内ということで予算を計上して、今回の料飲店組合につきましては22万円を計上させていただきます。

以上であります

議長（北猛俊君） よろしいですか。

3番石上孝雄君。



3番(石上孝雄君) 7款のほうで、要綱をつくったということですが、もしよければ、簡単でいいですから、みんながなじめる範囲で内容的なものを聞かせていただきたいと思います。

議長(北猛俊君) 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

総務部長(若杉勝博君) 石上議員の再質問にお答えいたします。

富良野市記念誌等作成事業補助金交付要綱ということで規定させていただきました。対象団体としては、町内会連合会も含めまして、経済、文化、スポーツ、教育等々の公共団体、いわゆる市の功労者の表彰基準がございますが、それと同じような形です。補助金額につきましては、先ほど申し上げたように4分の1、30万円を限度とし、また、節目ということですので、その対象団体が20年以上活動されていて、10年ごとに記念誌等を発刊しようとする団体があれば、申請をいただきまして審査して補助をしていくという考え方であります。

以上であります

議長(北猛俊君) よろしいですか。

(「了解」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) そのほか質疑ございませんか。

13番渋谷正文君。

13番(渋谷正文君) 3点ございます。

まず、24ページ、25ページのいまの115番、固形燃料ボイラー熱供給設備使用事業費に関して確認したいと思います。

さきの一般質問において、萩原議員への御答弁の際に、現在のRDFボイラーの運用状況については、昼に稼働し、夜は使っていないということでした。それからしますと、夜間は重油ボイラーをたいているのだなと思います。こうした運用状況について、私は早急に24時間運用体制に移っていくのかなという考えも持っていました。しかし、先ほどの答弁によりますと、こちらはまだまだ試験運用であるといったところではありますが、その運用状況について、1点お伺いしたいと思います。

2点目は、ページが変わりまして、28ページ、29ページの7款1項3目の105番、観光PR動画制作事業費についてであります。このPR動画の内容について御確認したいと思います。

内容については、私は、これは外に向かって発信するものということは十分に理解いたしますし、9月の私の一般質問においてもここに触れていたと思いますが、このPR動画は、富良野に住む者がこれが魅力だよというようなものを伝えるのか、それとも、富良野を訪れる観光客の目線によってつくられていくものなのか。それによって映るものが変わってくるのかなというふうに思いますので、ここのところの見解を伺いたいと思います。

3点目は、8款5項3目の100番、公営住宅建設事業費であります。

これは、当初は建てかえに係る計画に基づいて行われようとした公営住宅建設事業費であります。今回、手を下げて国庫支出金を返還したということでもあります。

そこで、こういうふうに、やろうとしていたものを取り下げってしまったことによって、今後の事業推進に影響が出ないものかどうか、心配するところです。この理由についてお聞かせいただきたいと思います。

議長(北猛俊君) 御答弁願います。

市民生活部長長沢和之君。

市民生活部長(長沢和之君) 渋谷議員の1点目のRDFボイラーの運転について御回答いたします。

先週の一般質問において、稼働の状況について、日中の稼働は試験を行ってほぼめどが立ったというお話をいたしました。安定稼働ということでは、さきに事故が起きましたが、その際に、やはり温度が上がるということがございました。そこで、人がついていない状態で夜間を含めて自動で運転するということでは、安定して動くように、温度の上昇があった場合はきちんとボイラーをとめるなどの仕組みが必要で、これはプログラムの改造が必要ですが、先週からボイラーの技術者が来てそのようなプログラムに設定されました。そして、日中の温度設定による動作がきちんとされるか、そのテストをして確認し、夜間の運転も先週末から作業を行っております。いま現在、夜間の運転も休み中に作業を検証しておりますので、この後、日中及び夜間を通した運転による稼働テストという段階になっております。

以上です。

議長(北猛俊君) 続けて、御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長(後藤正紀君) 渋谷議員の御質問にお答えいたします。

観光PR動画の内容でございますが、内容につきましては、いままで観光PR動画といえますときれいな景観や風景等が多いかと思われ。しかし、今回は、体験を軸にした文化や食など、対象としては外国の方、インパウンドの家族向け等をメインに考えてございます。富良野に来て、冬にはこういった体験がある、こういった食があるということをそれぞれ楽しんでいただいているような動画を考えてございます。

以上です。

議長(北猛俊君) 続けて、御答弁願います。

建設水道部長吉田育夫君。

建設水道部長(吉田育夫君) 渋谷議員の御質問にお答えいたします。

事業費減額の理由でございますが、まず、1点目の公営住宅建設工事費の減額につきましては、事業精査及び

事業の執行残ということでございます。

事業の執行残につきましては170万円ほどで、3,000万円ほどは事業精査によるものです。この事業精査の額が結構大きいのですが、理由といたしましては、まず、予算計上時は基本設計までの設計を行ったこと、それから、平成28年度、29年度間の資材費、人件費等の高騰を予想してこれに余裕を持ちました。公営住宅は途中でお金がないのでできないということにはなりませんので、余裕を持って確実に事業を執行できるようにということで、道や国と調整いたしまして予算額を決定したところでございます。こういうことで事業精査を行い、3,000万円ほど落ちたところでございます。

それから、公営住宅解体工事費につきましては、予算計上時は退去がスムーズに行われていたのですが、退去予定者において、やっぱり退去できない、ほかのところに移るのは嫌だということがありまして、公営住宅解体工事費については取りやめというふうにいたしました。

いずれの事業費につきましても、道や国と事業調整を行いながら、国費については、迷惑がかからないように、担当課のほうで調整し、渋谷議員が御懸念する今後の事業に影響が出ることのないように速やかに手をいたしました。この辺については道や国の理解を十分にいただいておりますので、御理解いただきたいというふうに思います。

以上でございます。

議長（北猛俊君） 13番渋谷正文君。

13番（渋谷正文君） 1点目のボイラーについては了解いたしました。

2点目の観光PR動画制作のところですが、私が最初にお話したのは、富良野に住んでいる方の目線と、観光で富良野に来たときの観光客の目線では、違いが大きいのではないかとことを伝えたくもります。ですから、実際に入札をかけていこうとしますと、内容について、こういう形で動画をつくりなさいという設計が必要になってくると思うのです。そこに、私が言ったようなエッセンスといいますか、その感じが入っていくのかどうかをお伺いしております。

それと、公営住宅の件でございます。解体に係るところで、なかなか退去されないのだというようなお話がありました。私も余りわからないので調べてみたのですが、公営住宅法上、明け渡し請求を受けた者は、期限が到来したときには速やかに公営住宅を明け渡さなければいけないと書いてあります。これからすると、先ほど部長から答弁のあった退去者がなかなか納得しないのだというのは、一致しないのではないかなと思いますので、このところをもう少し御説明いただきたいなと思います。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長（後藤正紀君） 渋谷議員の御質問にお答えいたします。

PR動画制作の目線というお話でございますが、目的といたしましては、来ていただける観光客の皆様が、富良野は楽しいところだね、こんなことができるなということがわかるものということで、目線というよりも、受ける側に対して響くものをつくっていきたいと思っております。富良野市ではこういったものが楽しいよという宣伝もあるかと思いますが、あくまでも受け取るほうが、富良野は楽しいところだな、おいしいものがあるところだなとわかるものとしたらと思っております。

以上です。

議長（北猛俊君） 続いて、御答弁願います。

建設水道部長吉田育夫君。

建設水道部長（吉田育夫君） 渋谷議員の再質問にお答えいたします。

法令上は確かにそういう規定がございますが、いま退去を予定されている方については、御高齢であり、長年そこに住んでいらっしゃるという事情もございまして、新しいところに移るとなると、家賃の改定もございまして。経済上、それから、引っ越しによる身体的な負担も含めて勘案しまして、我々としては、その方が納得して退去できるまで粘り強く説得していくという方針でございます。ですから、法的に云々というよりは、その方の心情、事情等も含めて、今回、解体については断念したという経過でございますので、そのところを御理解をいただきたいと思っております。

以上でございます。

議長（北猛俊君） 13番渋谷正文君。

13番（渋谷正文君） 観光PR動画については、私の言いたいことは伝えましたので、これは了解しました。

次に、公営住宅の建設の関係につきましては、いまのお話でいきますと、諸事情を勘案してということでございますので、そうすると、部局の横の連携が非常に重要になっていくのかなというふうに思っております。こうしたことも含めて行っていくのかどうか、そこをお聞かせください。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

建設水道部長吉田育夫君。

建設水道部長（吉田育夫君） 渋谷議員の再質問にお答えいたします。

部署的には、当然、その方の経済事情も含めて、保健福祉部等々の関連部局との連携も必要かというふうに思います。この辺につきましては、もちろんいままでも関連部局との連携を行っておりますが、さらにそういう関連を十分に協議させていただきながら対応していきたいと思っております。

以上でございます。

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で歳出を終わります。

次に、歳入及び第2条第2表債務負担行為の補正を行います。

6ページ、7ページ及び12ページより19ページまでを行います。

質疑ございませんか。

13番渋谷正文君。

13番（渋谷正文君） 18ページ、19ページの19款繰入金1項基金繰入金のふるさと応援基金繰入金についてでございます。

こちらにつきましては、もともとの基金は、教育、農林業、医療、介護、福祉、そして市長が必要と認めたところとなっているのかなと思っております。この基金の残高が10月末で4,161万5,000円となっておりますが、市長が必要と認めているところの金額についてはどれほどあるのか、その予算内で行われているのかどうか、1点確認したいと思います。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

財政課長藤野秀光君。

財政課長（藤野秀光君） 渋谷議員の御質問にお答えさせていただきます。

今回充当させていただきましたふるさと応援基金の部分ですが、平成28年度に積み立てできました4,000万円のうち、その他市長のところに充てられる分として1,278万2,000円を予定し、このうちの1,200万円を充当させていただいたところでございます。よろしく申し上げます。

議長（北猛俊君） 13番渋谷正文君。

13番（渋谷正文君） 関連するかなと思うのですが、本来、この事業について1,278万円余があるのであれば、当初においてこのような形で使うのだということを計画しておくべきだと思います。なぜなら、これは、いわゆる富良野を応援する人たちによって積んでいたお金を充てているものだと思います。私は、このように使うのですということを当初にはっきりと示して、それで使うのが正しいのではないかなというふうに思います。そこを、市長が認めるところというふうにざっくりとやってしまうのはどうなのかなという考えを持っております。いかがでしょうか。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

財政課長藤野秀光君。

財政課長（藤野秀光君） 渋谷議員の御質問にお答えさせていただきます。

平成28年度の基金の積み立てをできたのが3月でございます。29年度の当初予算で組むには時期的に合わなかった部分がございます。

それから、ふるさと納税の積み立てにつきましては、先日の総務部長の回答にもありまして、随時検討していきながら、積み立ててきた分につきましては、平成30年度の当初予算を含めて、再度、御検討させていただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第1号の質疑を終わり、本件6件の質疑を終了いたします。討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件6件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件6件は、原案のとおり可決されました。

## 日程第2

議案第2号 平成29年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議長（北猛俊君） 日程第2、議案第2号、平成29年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

## 日程第3

議案第3号 平成29年度富良野市介護保険特別会計補正予算（第2号）

議長（北猛俊君） 日程第3、議案第3号、平成29年度富良野市介護保険特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第4

議案第4号 平成29年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第3号)

議案第10号 富良野市特別会計設置条例の一部改正について

議案第11号 富良野市公設地方卸売市場条例の廃止について

議案第12号 財産の無償譲渡について

議案第13号 財産の処分について

議長(北猛俊君) 日程第4、議案第4号、平成29年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算及びこれに関連する議案第10号、富良野市特別会計設置条例の一部改正について、議案第11号、富良野市公設地方卸売市場条例の廃止について、議案第12号、財産の無償譲渡について、議案第13号、財産の処分について、以上5件を一括して議題といたします。

初めに、議案第10号、富良野市特別会計設置条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、以上で議案第10号の質疑を終わります。

次に、議案第11号、富良野市公設地方卸売市場条例の廃止についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、以上で議案第11号の質疑を終わります。

次に、議案第12号、財産の無償譲渡についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

17番黒岩岳雄君。

17番(黒岩岳雄君) 財産の無償譲渡ですが、この根

拠について説明をお願いしたいと思います。

議長(北猛俊君) 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長(後藤正紀君) 黒岩議員の御質問にお答えいたします。

財産の無償譲渡の理由でございますが、こちらは、競り場、水産、青果、それから、市場事務所と冷蔵設備等ということで、建設年度がそれぞれ昭和40年、43年、42年ということで非常に古くなってきてございます。それから、冷蔵庫施設については、まだ補助等が残っている物件でございます。今後、修理等も起こってまいります。あわせて、補助要件の中では無償譲渡によりまして補助金の返還が免除されるということがございますので、今回、この施設につきましては、古いということも含めて無償といたしました。

以上でございます。

議長(北猛俊君) よろしいですか。

17番黒岩岳雄君。

17番(黒岩岳雄君) 無償譲渡というのは、今後いろいろな経費がかかることも含めて、市場のほうを継続していただくための支援の一環だと思うのですが、以前にいただいた資料を見ますと、今後の修繕に10年間で1億7,000万円ほどかかるように出ております。こういう見積もりも、行政側の見積もりなのか、きちんとしたところをお願いした見積もりなのか。

今回はそういうことも加味して無償譲渡になったのではないかと思うのですが、その説明をお願いしたいと思います。

議長(北猛俊君) 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長(後藤正紀君) 黒岩議員の御質問にお答えいたします。

いまの御質問の中で、今後、1億7,000万円ほどというお話がございましたが、譲渡いたしましてから今後10年間に掛かる修繕費等についてそれぞれの施設で積算いたしました。この中にはどうしても正式な見積もりができない部分もございますが、例えばこういったものが3年後にかかる、5年後にかかるというふうに積算しながら、10年間で1億7,000万円かかるということで今後の修繕費等を積算してございます。

以上です。

議長(北猛俊君) よろしいですか。

17番黒岩岳雄君。

17番(黒岩岳雄君) いまの1億7,000万円というのは、市側の担当部局なのか、相手方なのか、どちらの見積もりでしょうか。

議長(北猛俊君) 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長（後藤正紀君） 黒岩議員の御質問にお答えいたします。

いまの金額の見積もりはどちらの側かという部分でございますが、もちろん市のほうでこういった積算をいたしましたけれども、相手方である市場のほうとも十分に協議を行った上で、お互いに納得し、合意したものでございます。

以上です。

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第12号の質疑を終わります。

次に、議案第13号、財産の処分についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

11番水間健太君。

11番（水間健太君） こちらは、市場の土地に関しての財産処分となっております。

売却予定価格としては8,736万5,000円が計上されております。いまも黒岩議員が質問をしていましたが、今後10年間で必要となる大規模な修繕経費の2分の1を減額し、こちらの金額を算定したというふうに理解していません。

事前にいただいた資料では、今後10年間で必要となる大規模な修繕経費として総額で1億7,100万円が計上されていて、大部分が冷凍庫、冷蔵庫の更新費用となっております。特に冷凍冷蔵庫に関しては、平成7年に建設し、耐用年数が31年で、経過が21年とまだ10年間の耐用年数が残っている中で、冷凍庫に関しては平成30年度に更新を予定されています。残存期間が10年間残っている中で、平成30年度に更新を計上して売却の価格から減額した理由と経過についてお伺いいたします。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長（後藤正紀君） 水間議員の御質問にお答えいたします。

ただいま冷蔵庫施設等の残存期間が残っている中での積算ということでございましたけれども、建設年度は平成7年でございまして、耐用年数としては、建物の扱いになるものですから、31年間ということでもまだ10年ほど残っている形になります。ただし、中の冷凍機あるいは関連する機械につきましては、そこまでもちません。基本的には、10年あるいは20年で消耗等が起こってくると思われまして、ですから、建物全体としての耐用年数は10年残っていて補助の対象期間になりますが、中の設備、機械等につきましては途中で更新が必要という判断でございます。

以上です。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

17番黒岩岳雄君。

17番（黒岩岳雄君） 今回の中にはついてないのですが、以前にいただいたもので、民営化に関する覚書という案をいただいております。その内容について質問させてもらってよろしいでしょうか。

議長（北猛俊君） 暫時休憩いたします。

午前11時00分 休憩

午前11時03分 開議

議長（北猛俊君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の黒岩岳雄君の質問に関しては、取り下げの旨、申し出がございました。

そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第13号の質疑を終わります。

次に、議案第4号、平成29年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第4号の質疑を終わり、本件5件の質疑を終了いたします。討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に5件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件5件は、原案のとおり可決されました。

日程第5

議案第5号 平成29年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

議長（北猛俊君） 日程第5、議案第5号、平成29年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第6

議案第6号 平成29年度富良野市水道事業会計補正予算（第2号）

議長（北猛俊君） 日程第6、議案第6号、平成29年度富良野市水道事業会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第7

議案第7号 平成29年度富良野市ワイン事業会計補正予算（第1号）

議長（北猛俊君） 日程第7、議案第7号、平成29年度富良野市ワイン事業会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第8

議案第8号 富良野市債権管理条例の制定につ

いて

議長（北猛俊君） 日程第8、議案第8号、富良野市債権管理条例の制定についてを議題といたします。

本件については、さきの議会運営委員長報告のとおり精査を要しますので、総務文教委員会に付託し、閉会中の継続審査といたしたいと存じます。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、ただいまお諮りのとおり、総務文教委員会に付託することに決しました。

#### 日程第9

議員の派遣について

議長（北猛俊君） 日程第9、議員の派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

議員の派遣については、お手元に御配付のとおり派遣することにいたしたいと存じます。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、お手元に御配付のとおり派遣することに決しました。

#### 日程第10

閉会中の所管事務調査について

閉会中の都市事例調査について

議長（北猛俊君） 日程第10、閉会中の所管事務調査及び都市事例調査についてを一括議題といたします。

本件について、各委員長よりの申し出を職員に朗読いたさせます。

庶務課長今井顕一君。

庶務課長（今井顕一君） -登壇-

初めに、総務文教委員会、市民福祉委員会の各委員長からの所管事務調査の申し出を朗読いたします。

事務調査申出書。

本委員会は、閉会中、下記の件について、継続調査を要するものと決定したので、申し出ます。

総務文教委員会、調査番号、調査第4号、調査件名、市有財産について。

市民福祉委員会、調査番号、調査第5号、調査件名、地域医療の実態について。

次に、議会運営委員長からの都市事例調査の申し出を朗読いたします。

都市事例調査申出書。

本委員会は、閉会中、下記により都市事例調査を要するものと決定したので、申し出ます。

議会運営委員会、調査件名、議会運営について。

調査地、東京都町田市、埼玉県飯能市、予定月日、2月上旬。

以上でございます。

議長（北猛俊君） お諮りいたします。

ただいま朗読報告のとおり、閉会中の所管事務調査及び都市事例調査について決定したいと思っております。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、申し出のとおり、閉会中の所管事務調査及び都市事例調査を許可することに決しました。

以上で、本日の日程を終わり、本定例会の案件は、全て終了いたしました。

## 市長挨拶

議長（北猛俊君） この際、市長より御挨拶の申し出がありますので、これをお受けいたします。

市長能登芳昭君。

市長（能登芳昭君） -登壇-

平成29年第4回定例会の閉会に当たりまして、議長のお許しをいただき、挨拶の機会をいただきましたことに対しまして、厚くお礼申し上げたいと思っております。

初めに、本議会に御提案いたしました一般会計、特別会計、企業会計の補正予算を初め、平成28年度の決算認定など、全議案の可決、御承認をいただきましたことに、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、ことし1年を振り返ってみますと、たび重なる北朝鮮の弾道ミサイルの発射は、国際社会の一致した平和的解決の強い意思を踏みにじるものであり、北朝鮮の核ミサイルの開発は、これまでにない重大かつ差し迫った脅威であります。

このような中、安倍内閣は、北朝鮮の脅威から国民を守り抜くことと消費税の使い道の変更を公約に掲げて衆議院を解散し、10月22日に、自由民主党と連立予定であります公明党とあわせ、圧倒的な勝利を上げましたが、国政運営への期待と不安が国民に強く感じられるように見受けられるところであります。

さて、本市の基幹産業である農業につきましては、春から順調に天候が推移し、6月には、一時、低温にもなりましたが、その後の好天により、作物はおおむね平年並みの作柄となり、本年度から、農業分野に新たな労働力として子育てママの農業従事や、ICT技術を活用したスマート農業を進めてきたところであります。

また、観光につきましては、4月から9月までの上半期の観光入り込み客数が前年同期比0.3%減の131万4,000人となりましたが、宿泊延べ数は4.4%増となり、これまでのアジア圏へのトップセールスにより訪日外国人が大幅に増加し、北の峰地区におきましては、外国資本によるホテル建設やリゾート開発が進められてきているところであります。

まちなかエリアは、フラノマルシェの人気により依然好調な入り込みを続け、平成22年4月のオープン以来、本年11月には来場者数が700万人を達成するとともに、空きビルとなっていた旧三番館ふらの店が観光、食、おもてなしをコンセプトとした複合施設へ再生することで、明年6月には中心市街地が大きく生まれ変わることであります。

市民生活におきましては、プレミアムつき商品券や住宅リフォーム補助事業の継続実施により地域内経済の循環を図るとともに、市民の協力により、ごみ分別の成果が質の高い資源となって公共施設への導入が実現し、エネルギーの地産地消が図られてきたところであります。

また、社会資本整備では、市街地の東2条1、東6条、西8条2の道路改良舗装工事を完了いたし、西麻町には1棟12戸の公営住宅を建設するとともに、農村地域における小・中学校までの光回線の整備をしたところであります。

昨年の11月、JR北海道は、当社単独では維持することが困難な10路線13線区を発表し、本年3月には、大正2年に開業した島ノ下駅が104年の歴史に幕を閉じました。

鉄道は、地域住民の通学や通院などの日常生活を支えているとともに、広域観光や広域物流など、農業と観光を基幹産業とする本市にとって必要不可欠な社会インフラであることから、鉄道の維持、存続に向けて、議員各位や市民の皆様と協力して取り組んでいかなければならない重要な時期を迎えています。

次に、私ごとであります。来年4月に挙行されます富良野市長選挙に立候補しないことを御報告申し上げます。

私は、平成18年5月15日に市長就任以来、今日まで約12年間にわたり、市民の皆様への負託に応えるべく、公約実現を目指し、取り組んでまいりました。誠実、行動、変わらぬ信念を旨として、市議会、市民の皆様への御協力によりまして、身の丈に合った予算執行のために、財政健全化計画、職員適正化計画、第5次富良野市総合計画、平成23年から平成32年の計画推進に全力を傾注してまいりました。

この間、特に1期目におきましては、平成18年から19年まで、市長車廃止と運転手の廃止を初め、市特別職報酬20%カット、市職員平均9%、そして、市議会議員の

皆さんにも平成20年から21年にわたりまして10%の報酬カットをお願いする状況でございました。一方、職員数削減では、平成18年4月から職員数全体で329名でありましたが、平成29年12月現在では262名と、67名の削減をしました。財政健全化計画、職員適正化計画と行政機構の改革を実施して、行政効果を大きく前進させることができました。

さらに、財政健全化におきましては、財政調整基金の運用がまちづくり計画にも大きく左右するものでありますから、平成17年度末の基金が5億7,618万円でありましたが、平成29年度末の見込みでは12億4,562万円であり、また、庁舎等建設基金5億8,000万円余を積み立てし、公約実現とあわせ、着実に、未来の庁舎等建設を初め、各事業の推進を図る状況にあると思われまます。

加えて、各会計地方債につきましても、平成17年度末には234億9,000万円余でありましたが、平成29年度末には186億7,000万円余で、今日、48億9,800万円余まで低減するに至りました。

また、長年の懸案でありました学校環境の整備におきましては、全道のモデル校とも言われている東小学校校舎、体育館の建設を初め、五つの小学校校舎、体育館の改修を行ってまいりました。さらに、基幹産業であります農業を初め、観光振興、商工振興、あるいはまた、公営住宅建設計画、橋梁改修、道路改修、あわせて、医療、福祉の施策、子育て支援とお年寄りの支援施策、また、地域防災計画に関する組織づくりなどを推進してきたところであります。

行政は継続であります。今後におきましても、富良野市発展のために、今後立起されます市長候補の皆様には、未来の富良野に市民の夢と希望がかなえられますよう強く要望いたします。

終わりに当たりまして、本年も残すところわずかとなりましたが、議員各位におかれましては、健康に十分留意されまして、ますますの御活躍と輝かしい新年を迎えられますことを御祈念申し上げ、挨拶いたします。

ありがとうございました。

(拍手)

議 長 挨 拶

議長(北猛俊君) -登壇-

市長の御挨拶をありがとうございました。

私からも、平成29年第4回定例会の閉会に当たり、一言、御挨拶を申し上げます。

ことし1年、議員各位並びに市長を初めとする市当局の皆様には、議会運営に多大な御協力を賜りましたことに心から感謝を申し上げます。

この1年を振り返りますと、春先の低温に始まり、夏

は30度を超える真夏日の連続、そして、秋には強風による施設被害、そして、11月後半からの大雪は市内各所に大きな雪山の景色をつくるなど、さまざまな自然の脅威にさらされた1年でありました。それでも、昨年のような台風や豪雨による大きな被害もなく、総じて平和で安全な1年で終えようとしていることは幸いであります。

一方、世界においては、戦闘や紛争が繰り返される中で、子供や女性、そして、学生の自由や尊厳が大きく損なわれている実態が伝えられ、さらに、隣国から発射されたミサイルが北海道上空を通過するなど、近代的な時代背景とは裏腹な出来事も多く見られました。平成29年をあらわす漢字一文字が「北」と書かれましたが、個人的にも喜べない複雑な心境でございます。

さて、今期定例会は、去る12月6日に開会以来、本日までの13日間にわたり、各会計の補正予算、新設条例や条例改正などの議案が上程され、御審議をいただきました。また、決算審査報告、各委員会報告、都市事例調査報告がなされ、加えて、16名の議員により、36件の項目について一般質問が行われました。

いずれも重要な案件でありましたが、議員各位の終始極めて熱心な御提案をいただきながら、本日ここに無事閉会の運びとなりました。これも、ひとえに皆様方の議会運営に対する御理解と御協力のたまものと心から感謝申し上げます。

また、市長を初め、執行部、行政委員各位におかれましては、常に真摯な態度をもって審議に御協力をいただきましたことに、この場をおかりして深く敬意を表します。

ただいまの市長の御挨拶の中で、3期目4年間を振り返って、市の将来に希望の持てるまちづくりの道筋が示されたことと自己評価をされながら、来期の市長選挙に立候補しない旨の表明がございました。財政の健全化からスタートした能登市政の御活躍を、役割、立場こそ違いますが、11年間拝見させていただきました。断固たる決意、そして、強い意思と実行力を持って継続性のある市政運営に努められ、一時代を築かれたその御努力に敬意を表するところでございます。

少子高齢・人口減少社会を迎えておりますが、富良野市の農業、観光、環境もさらなる展開を望める時期を迎え、良質なイメージと知名度を高めております。現在、JR鉄路問題や地域医療を支えていく仕組みづくり、老朽化する社会資本や公共施設の再編など直面する課題もありませんが、市長の重ねてこられた御努力が、市政に、そして市民の福祉向上に継続されるよう、議会としても役割を果たしてまいります。

少し気が早いかもしれませんが、奉職以来、そして、現在、市長として市政発展に御尽力いただきましたことに、心から敬意と感謝を申し上げます。



年の瀬も迫り、いよいよ寒さも厳しくなってきました。皆様方におかれましては、何かと御多忙な日々をお過ごしのことと思いますが、健康には十分留意をされまして、今後とも市政の積極的な推進に御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

明るい日差しに包まれ、躍進に満ちた平成30年の新春を皆様とともに迎えられることを心から御祈念申し上げます。閉会の御挨拶とさせていただきます。

#### 閉 会 宣 告

議長（北猛俊君） これをもって、平成29年第4回富良野市議会定例会を閉会いたします。

午前11時25分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 29 年 12 月 18 日

議 長 北 猛 俊

署名議員 石 上 孝 雄

署名議員 広 瀬 寛 人